

令和5年度 第3回幕別町地域公共交通活性化協議会会議録

1 開催日時

令和6年1月18日（水）午後2時00分～午後3時24分

2 開催場所

幕別町役場 3-A・B会議室

3 出席者等

- (1) 委員：28名中21名出席 ※内訳は別紙のとおり
- (2) 事務局：4名

4 議事次第及び結果

- (1) 開会
- (2) 会長挨拶
- (3) 議案

- ①議案第9号 地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について
事務局から議案に基づき説明。原案のとおり可決。
- ②議案第10号 幕別町地域公共交通計画の策定に係る協議について
事務局から議案に基づき説明。質疑等については次のとおり。

(計画69ページ「施策⑤農村と市街地を結ぶ移動手段の利便性向上」について)

高橋委員：忠類地域についての記載で、「外出支援サービスとの連携」、「新しいサービスの導入」とある。新しいサービスで例示された「ライドシェア・自動運転」は忠類地域に限らず、今後全町で検討しなければならない課題であると捉えている。

外出支援サービスは交通弱者に向けた事業ではなく、体が虚弱・歩行が困難な方など、公共交通を利用できない方に向けた福祉の支援として実施しているもの。公共交通との連携とは、外出支援サービスの方向性を変えるという意味で記載しているのか。

会長：外出支援サービスは公共交通と直接的に結びつけられるものではないことは認識している。一方、忠類地域には自力以外に農村部と市街地を結ぶ手段が外出支援サービスしかないのは事実である。

地域内で完結するデマンド交通には需要が見込めないとの意見も受けた中で、外出支援サービスの対象者を拡大できないかという提案があり、今後の検討材料として計画に記載している。忠類地域は運行主体の問題もあり、良い方法が見いだせていないのが実情。

久保委員：運転免許自主返納者に対するバスの割引について。配偶者の運転する車で移動していた夫婦が免許返納し、公共交通を利用し始めたところ、運転免許証返納割引が本人にしか適用されず困っているという声を耳にする。幕別町内のコミバスであれば、割引制度の拡充で対応できると思うので、検討してみてはどうか。

会 長：今後の施策の参考にしたい。

長沢委員：自治体・交通事業者だけで現状維持をすることが厳しい時代にある。十勝バスでは昨年、チャレンジの年として商業施設や医療機関等の異業種と連携したサービスを検討・実施した。町と事業者以外の力を借りた方策も検討するため、そういった文言の追加を検討してほしい。

(計画69ページ「施策⑤ 農村と市街地を結ぶ移動手段の利便性向上」について)

塚本委員：現在議論されているライドシェアは当初の組み立てから制度内容が大きく変わってきている。新たな制度が4月1日に解禁される予定だが、それまでに内容が変わる可能性が大きい。ライドシェアについてはもう少し精査してから記載しても良いかと思う。

会 長：ライドシェアについては状況を見極める必要があると考えている。新たなサービスに対する可能性という意味合いで計画案に記載した。ライドシェアの導入を可能性としても触れるべきではないなら、記載の文言を検討することとする。

(計画68ページ「施策④ 新しい決済サービスの導入検討」について)

宮本委員：新たな決済サービスを令和10年まで「検討」としているところであるが、今般まくPay(※)を導入したばかりなので、推進する意味合いでも公共交通への導入を早めてほしい。

会 長：スマホをかざすだけの決済など、あらゆる方法が可能になってきている中、現在のまくPayは支払いに際しQRコード読み取りが必須であり、導入に課題がある。商工会と意見交換をしながら検討したいが、交通事業への速やかな導入は難しいと想定しこのように記載している。

※ まくPay：町内加盟店で使用可能な地域独自の電子マネーで、令和4年から運用を開始。

(計画72ページ「6.1 評価指標及び数値目標」について)

成田代理：「コミュニティバス延べ利用者数」の数値目標設定について。少子高齢化・人口減少社会の中、コミュニティバス延べ利用者数の目標を毎年1,000人程度も増加する目標としているが、この根拠及び達成可能性を示していただきたい。

事務局：令和6年度の目標値は「まち・ひと・しごと創生総合戦略」における目標を基に設定している。令和5年7月からの75歳以上の運賃無料化により、現在の延べ利用人数は増加傾向にあることから、令和7年度以降も令和6年度以前と同様のペースで増加すると仮定して設定した目標である。仮に令和7年度以降の目標と実績に乖離がみられた場合には、本協議会で目標の見直しを含め協議することになると考えている。

成田代理：計画策定までのスケジュールは。

事務局：現時点では、2月1日から3月1日までパブリックコメントを実施した後、3月中に再度本協議会にお諮りし、年度末には計画を完成するという日程を想定している。

	区 分	氏 名	所 属	役 職	出欠・備考
1	幕別町	会長 伊藤 博明	幕別町	副町長	
2	北海道運輸局帯 広運輸支局長が 指名する者	若杉 貴志	帯広運輸支局	首席運輸企画専 門官	企画輸送・監査担当 成田氏 代理出席
3	北海道十勝総合 振興局長が指名 する者	範国 修史	十勝総合振興局地域創生部 地域政策課	課長	
4	関係する道路管 理者が指名する 者	大江 祐一	帯広開発建設部道路計画課	課長	
5		佐々木 昇	十勝総合振興局帯広建設管 理部 事業室地域調整課	課長	×
6	帯広警察署長が 指名する者	堺 玄州	帯広警察署交通第一課	課長	
7	一般旅客自動車 運送事業者の代 表	長沢 敏彦	十勝バス株式会社	旅客事業本部長	
8		加藤 貴志	北斗タクシー株式会社	統括課長	
9		桑島 亮	エイシン運輸株式会社	代表取締役	
10	住民又は利用者 の代表	高畠 政由	幕別地区町内会長代表	宝町町内会長	
11		中橋 伸勝	札内地区町内会長代表	文京町町内会長	
12		熊田 由幸	札内地区町内会長代表	途別町町内会長	
13		山田 敏明	南幕別地区町内会長代表	中糠内町町内会長	×
14		及川 昇	忠類地区町内会長代表	忠類本町町内会 長	×
15		笹井 守	幕別町商工会	会長	
16		高橋 平明	幕別町社会福祉協議会	会長	
17		宮本真由美	幕別町民生委員児童委員協 議会	副会長	
18		永井ケイ子	幕別町消費者協会	監査	
19		三井 央一	幕別町PTA連合会	会長	×
20		古川 稔	幕別町老人クラブ連合会	会長	×
21	宮澤 清志	幕別町障害者(児)団体連絡 協議会	会長		
22	幕別町長が指名 する町職員	寺田 治	幕別町住民生活部	部長	
23		樫木 良美	幕別町保健福祉部	部長	
24		岡田 直之	幕別町経済部	部長	×
25		小野 晴正	幕別町建設部	部長	
26		川瀬 吉治	幕別町教育委員会教育部	部長	
27	その他協議会が 必要と認める者	久保 真司	十勝地区バス労働組合連絡 会	代表	
28		塚本 俊二	十勝地区ハイヤー協会	常務理事	

出席者 21名（会長含、1名代理出席）